

佳作

ありがとうが言えなくて

埼玉県
行田市立東小学校 五年

岡安 琴音

「おかえり！」

と、大きな声でむかえてくれるおばあちゃん。雨風の強い日も、とてもあつい夏の日も、私達の学校の帰り道いつもきまった所で帰りをまっけてくれます。

「安全に帰れる事が大事だから。」

と、もう何年もつづけていてくれるのです。本当はとでもありがたう思っているけど、少してれくさいのとはずかしさで、なかなか

「いつもありがとう。」

とは言えないでいます。農作業の途中で来たおばあちゃんに

「もつとちゃんとした服で来てよ！」

と、言ってしまった事もあります。夏休み前は暑い日がつづき、大きな麦わらぼうしをかぶって自転車にのり汗をいっぱいかいて来てくれたのに、あたり前だと思ってしまうと、自転車を押して歩いてくるおばあちゃんをいなかのようになら走って帰ってしまった事もありました。小学生がぎせいになる悲しい事件があり、私達を安全に帰れるよう、待っていていてくれることを、安全に帰れている毎日の中でありがたさを忘れてしまっているのです。

ある日の事、学校の行事の変更で帰りの時間かわる事をおばあちゃんに伝えない事がありました。その事を忘れていた私はいつもと同じように、お友達と話しながら帰り、おばあちゃんの待っていてくれるあの道へつくと、きつと

一時間以上まっけてくれたのでしよう、道のすみに座っているおばあちゃんが見えました。私達を見つけると「よっこいしょ。」

と、声が聞こえてくるようなスピードで立ち

「おかえり！」

と、いつもと同じように大きな声で声をかけてくれました。私は時間を伝えていなかた事にすぐ気づきましたが、おばあちゃんは、その事をちつともせめる事なく

「今日はおそかったんだね。」

と、やさしく言ってくれました。もし私だったら

「ずっとまっけてたんだよ！時間がかわつたのなら、ちゃんと教えてよ！」

と、言ってしまったにちがいありません。この一時間の間にできる事もいっぱいあったらうに、ずっとまっけていてくれました。そんな日があつても、私は

「ごめんねまたせちやたね。今日もありがとう。」

とは言えませんでした。

「おばあちゃん、本当はいつも待っていてくれる事本当はとでもうれしく思っているんだよ。いつもありがとう。これからもよろしくお願いします。」

今度は大きな声でこの気持ちを伝えようと思います。大好きなおばあちゃん。